

世界史B，日本史B，地理B，政治・経済



物理，化学，生物 問題

はじめに，これを読みなさい。

1. この問題冊子は137ページある。ただし，ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史B	1ページから20ページ
日本史B	21ページから36ページ
地理B	37ページから67ページ
政治・経済	68ページから84ページ
物理	85ページから98ページ
化学	99ページから116ページ
生物	117ページから137ページ

2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか，受験票と照合して，確認すること。
3. 問題文の中で，国名，地域名，企業名については略称，通称も用いている。
4. 監督者の指示にしたがい，解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。次に「解答科目マーク欄」にマークし，「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合，または複数の科目にマークされている場合は，この時限は採点対象外とする。
5. 解答は，すべて解答用紙の所定欄にマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 1つの解答欄に，2つ以上マークしないこと。
7. 解答は，必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
8. 訂正する場合は，消しゴムできれいに消し，消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は，絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収するので，持ち帰らず，必ず提出すること。ただし，この問題冊子は，必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は，60分である。
12. マーク記入例

良い例	悪い例
	

日本史 B

(解答番号 1～34)

〔 I 〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

土地制度は国家権力にとって重要な統治の課題であり、社会情勢の変動によって、土地制度の変革に取り組むことを支配層は求められた。

奈良時代の朝廷が、人口増加による口分田の不足への対策と租税収入の増加のために、三世一身法さらに墾田永年私財法を定めたことは、律令の土地制度の原則を大きくあらためるものであった。平安時代になると、朝廷は有力農民の農業経営に依存した新たな土地政策をうちだし、税収入の確保につとめた。

また、奈良時代に出現し、平安時代になって増加をはじめる荘園の土地支配のあり方は、律令制度のそれと大きく異なるものであった。そのため、朝廷は荘園に関する政策を打ち出さなくてはならなかった。十世紀初頭に朝廷は国司の行政の妨げとなる荘園を停廃する法令を^(ア)発し、また十一世紀後半にも後三条天皇によって基準にあわない荘園を積極的に停廃する政策が示された。

しかしながら、平安時代後期の院政期には荘園の数は急増し、保元の乱に勝利した は、大規模な荘園群を経済基盤として絶大な権力を行使した。そのような天皇家の有する荘園群は、鎌倉時代における天皇家の系統の分裂とともに分割され、南北朝期にいたった。

武士の政権である鎌倉幕府もまた、荘園制を基礎とした権力体であったということができ、^(カ)荘園制を維持するための課題に取り組んだ。だが、時代が経過するにつれ、荘園現地における鎌倉幕府御家人の支配権の強まりとともに、荘園制は^(キ)変質を余儀なくされ、朝廷支配層の経済基盤としての荘園のあり方も大きく動揺していくこととなった。

問 1 下線部(ア)に関する説明として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 1)

- A この法令の発布の翌年に、百万町歩開墾計画が立てられた。
- B 新たな灌漑施設による田地の開墾は禁じられていた。
- C この法令が発布された時の年号は天平である。
- D 旧来の灌漑施設により開墾した田地の保有は、本人のみに認められた。

問 2 下線部(イ)に関連して、新たに大宰府管内におかれた田地の名称として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 2)

- A 口分田 B 名田 C 位田 D 公営田

問 3 下線部(ウ)に関する説明として誤っているものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 3)

- A この法令を発した天皇は桓武天皇である。
- B この法令の発布とともに、班田が実施された。
- C この法令が発布された時の年号は延喜である。
- D この法令発布の頃の戸籍には、実態を反映しないものが見られた。

問 4 下線部(エ)に直接関係する機関として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 4)

- A 雑訴決断所 B 記録荘園券契所
- C 田所 D 問注所

問 5 空欄に当てはまる人名として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 5)

- A 後白河天皇 B 鳥羽天皇 C 後鳥羽天皇 D 白河天皇

日本史 B 問題は次ページに続いています。

問 6 下線部分に関して、天皇とその属した皇統の組み合わせとして誤っているものを、次の A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 6)

- A 後深草—持明院統
- B 伏見—持明院統
- C 花園—大覚寺統
- D 亀山—大覚寺統

問 7 下線部分に関する文章として正しいものを、次の A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 7)

- A 鎌倉幕府の地頭職は荘園のみに置かれ、公領には置かれなかった。
- B 鎌倉幕府の地頭職は東国のみ置かれ、西国には置かれなかった。
- C 御成敗式目は、御家人と荘園領主の紛争裁定の基準に用いられた。
- D 源頼朝を本所とする荘園は、関東御分国とよばれた。

問 8 下線部分に関する文章として誤っているものを、次の A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 8)

- A 荘園の土地の一定部分を、本所が地頭に分与する場合があった。
- B 蒙古襲来後、荘園に居住する武士は全て御家人身分を与えられた。
- C 本所が地頭に一定の年貢納入を請け負わせる契約を地頭請とよんだ。
- D 御家人の中には、荘園の現地に館をかまえる者がいた。

問 9 室町時代の土地制度に関する説明として正しいものを、次の A～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 9)

- A 応仁・文明の乱をきっかけとして、最初の半済令が出された。
- B 年貢徴収を守護に請け負わせる守護請は、関東においてのみ行われた。
- C 室町幕府の直轄地を蔵入地とよんだ。
- D 畿内では、年貢納入を請け負う地下請を行なう惣村が見られた。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問に答えよ。

東アジアの17世紀から19世紀において、武家政権をトップにもち、世襲の身分制度に依拠した江戸時代の日本社会では、儒教はその本質から離れ幕藩体制の都合にあわせ、ゆがんだ形で解釈された。たとえば、歴史書『本朝通鑑』を編纂した は、幕府内では僧侶として位置づけられていたし、会津藩主保科正之の信任を得た は、吉川惟足から神道を学び、朱子学と融合させた垂加神道を説き、江戸時代を通じて影響力をもった。しかし、中国や朝鮮ではこのようなことはおよそ考えられないのである。

17世紀、徳川綱吉は、政治の安定に儀礼が重要であることを理解し、朱子学を奨励した。以降、新井白石や荻生徂徠などの儒学者が幕府政治の表舞台で活躍するようになった。しかし、18世紀に入ると、貨幣経済の進展に対応できない朱子学は形骸化していった。これに危機感をもった は、幕府学問所での講義を朱子学に限定する政策をとったが、朱子学の実学としての人気は衰えていった。一方、自然科学の分野から登場した蘭学は らが、オランダ語の『ターヘル＝アナトミア』を翻訳した解剖書を刊行したことによって、医学の分野で発達していった。

19世紀に入ると、不安定になる社会への危機意識から、日本の神代の時代を理想とする復古的な国学が登場し、 が復古神道を盛んにし、水戸藩では国学を政治論までたかめ、国体論を形成し、尊王攘夷運動に影響を与えていったのである。

問 1 空欄 1 に入る人名として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。

(解答番号 10)

- A 藤原惺窩 B 木下順庵 C 林羅山 D 中江藤樹

問 2 空欄 2 に入る人名として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。

(解答番号 11)

- A 貝原益軒 B 山崎闇斎 C 山鹿素行 D 室鳩巢

問 3 下線部(ア)に関連する説明として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 12)

- A 本百姓の没落を防ぐため、田畑永代売買の禁令を出した。
B 林鳳岡らに命じて服忌令を整備し、発令した。
C 海舶互市新例を発令し、貿易額を制限した。
D 荻原重秀を登用し、金の含有量を高めた貨幣の改鋳を行った。

問 4 下線部(イ)に関する説明として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 13)

- A 京都堀川に塾を開き、古義学を唱えた。
B 岡山藩主池田光政に仕え、藩政改革を推進した。
C 『政談』を著し、武士土着論を唱えた。
D 大坂に懐徳堂を設立し、町人に儒学を教授した。

問 5 下線部(ウ)に関する説明として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 14)

- A 幕府は、困窮する旗本を救済するため、はじめて棄捐令を出した。
B 幕府は、関東の治安維持のため、関東取締出役を設置した。
C 幕府は、江戸で由井正雪ら浪人が企てた幕府転覆計画を弾圧した。
D 幕府は、江戸・大坂周辺の地を幕府直轄地にする上知令を出した。

問 6 空欄 3 に入る人物として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 15)

- A 水野忠邦 B 松平乗邑 C 松平定信 D 大岡忠相

問 7 空欄 4 に入る人物として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。(解答番号 16)

- A 杉田玄白 B 大槻玄沢 C 緒方洪庵 D 平賀源内

問 8 空欄 5 に入る人名として正しいものを、次の A～D のうちから 1 つ選べ。

(解答番号 17)

- A 大塩平八郎 B 平田篤胤 C 本多利明 D 賀茂真淵

日本史 B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅲ〕 次の史料A・Bは大日本帝国憲法の条文の一部と、憲法発布の翌日に内閣総理大臣が地方長官に対しておこなった演説の一節である。これらを読み、下記の問題に答えなさい。史料は書き改めたところもある。

史料A

第一条 大日本帝国憲法は万世一系の天皇^(ニ)之を統治す。

第三条 天皇は神聖にして侵すべからず。

第四条 天皇は国の元首にして統治権を し、此の憲法の条規に依り之を行ふ。

第三十三条 帝国議会は貴族院衆議院の両院を以て成立す。

第五十五条 ^(ア) 国務各大臣は天皇を輔弼し、其の責に任ず。
^(イ)

(出典 法令全書)

史料B

今般憲法発布式を挙行せられ、大日本帝国憲法及^(ウ)之に付随する諸法令は昨日を以て公布せられたり。(中略)欽定の憲法は臣民の敢て一辭を容ることを得ざるは勿論、各版の行政は之に準拠して針路を定め、天皇陛下統治の大権に従属すべきは更に贅言を要せざるなり。然るに政治上の意見は人々其所説を異にし、其説の合同する者相投じて一の団結をなし、政党なる者の社会に存立するは、情勢の免れざる所なりと雖^(エ)も、政府は常に一定の政策を取り、超然、政党の外に立ち、^(オ)至正至中の道に居らざる可からず。

(出典 牧野伸顯関係文書)

問 1 空欄にあてはまる語句として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 18)

- A 統帥 B 総攬 C 親裁 D 翼賛

問 2 下線部(ア)の帝国議会に関する説明として正しいものの組み合わせを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 19)

X 貴族院の権限は衆議院よりも優越するものと規定された。

Y 予算および法律は、帝国議会の同意により成立するとされた。

Z 帝国議会の召集、開会や衆議院の解散は内閣の権限だった。

A X—正 Y—正 Z—誤 B X—正 Y—誤 Z—誤

C X—誤 Y—正 Z—正 D X—誤 Y—正 Z—誤

問 3 下線部(イ)に関連して、大日本帝国憲法のもとでの国務大臣に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 20)

A 国務大臣は総理大臣により選任され、天皇の認証を受けた。

B 宮内大臣・内大臣は内閣を構成する国務大臣ではなかった。

C 憲法により、陸軍大臣・海軍大臣の任用は現役武官に限定された。

D 明治期の国務大臣は薩・長・土・肥の旧藩出身者に限られた。

問 4 下線部(ウ)の憲法に付随して公布された法令として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 21)

A 町村制 B 華族令 C 皇室典範 D 民法

問 5 下線部(エ)に関連して、帝国議会開設ときに議席を有していた政党・会派として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 22)

A 立憲自由党 B 立憲改進黨 C 大成会 D 憲政会

日本史B 問題は次ページに続いています。

問 6 下線部(外)に関連し、帝国議会開設当時の政府と政党の関係についての説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 23)

- A 政党は憲政擁護・閥族打破を唱えて結束し、群衆が国会議事堂を囲んだ。
- B 議会が開かれたのち、民党の一部は政府と妥協し、予算の成立に協力した。
- C 政府は政党に対抗して保安条例を公布し、民党の議員を東京から放逐した。
- D 最初の総選挙に際し、内務大臣品川弥二郎は激しい選挙干渉をおこなった。

問 7 史料Bの演説を行った総理大臣に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 24)

- A 第一回帝国議会において、「利益線」を確保する予算の必要性をとなえた。
- B 憲法制定に先立ち、渡欧してグナイストやシュタインから学んだ。
- C 開拓使の長官として北海道の開発を推進し、官有物払い下げをはかった。
- D 大蔵卿・大蔵大臣としてデフレ政策を実施し、不換紙幣を整理した。

問 8 帝国議会が開設された1890年当時の国内の経済・産業に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 25)

- A 国内の海運会社を合併して日本郵船が設立され、外国企業に対抗した。
- B 大規模な紡績工場の設立があいつぎ、綿糸の生産量が輸入量を越えた。
- C 欧米にならって金本位制が実施され、金融制度の安定がはかられた。
- D 在来産業を近代化するため、富岡製糸場など官営の工場が建設された。

〔IV〕 近現代の政治・経済について述べた次の文章A・Bを読み、下の設問に答えよ。

A すでに 1 が始まっていた1945(昭和20)年4月、2 内閣は退陣し、鈴木貫太郎内閣が成立した。鈴木内閣は、本土決戦準備を進めたが、5月上旬にドイツが無条件降伏し、1 の見通しも暗くなったため、国家指導層内部では、終戦を模索する動きが活発になった。7月26日にはドイツのポツダムで、3 の3国の名で日本の無条件降伏を要求するポツダム宣言が発表された。宣言には、戦後における日本での 4 の除去と基本的人権の確立、5 の処罰、カイロ宣言^(ア)の履行、連合国による日本の占領などが示されていた。その後、アメリカは、広島・長崎に原子爆弾を投下し、ソ連も日本に宣戦布告した。

鈴木内閣は、8月9日と14日に御前会議を開き、ポツダム宣言は天皇の国家統治の大権を否定しないとの解釈^(イ)のもとに、その受諾を決定し、連合国側に通告、15日正午の天皇による「終戦の詔書」の放送(玉音放送)によって戦争終結を国民に知らせた。

問1 空欄1・2にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号26)

- A 1—サイパン戦 2—東条英機 B 1—サイパン戦 2—小磯国昭
C 1—沖縄戦 2—東条英機 D 1—沖縄戦 2—小磯国昭

問2 空欄3にあてはまる語として正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号27)

- A アメリカ・イギリス・ソ連 B アメリカ・イギリス・中華民国
C アメリカ・中華民国・ソ連 D イギリス・中華民国・ソ連

問3 空欄4・5にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号28)

- A 4—天皇制 5—戦争犯罪人 B 4—天皇制 5—戦争指導者
C 4—軍国主義 5—戦争犯罪人 D 4—軍国主義 5—戦争指導者

問4 下線部(ア)に関して、カイロ宣言について述べた文として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号29)

- A 連合国3国が、日本の無条件降伏まで戦うことを宣言している。
B 満州・台湾・澎湖諸島の中国返還を基本方針とすることを宣言している。
C 戦後における朝鮮の解放(独立)を基本方針とすることを宣言している。
D この宣言の拒絶は徹底的な破壊あるのみであるとして、直ちに宣言を受諾するように要求している。

問5 下線部(イ)に関して、ポツダム宣言受諾をめぐる動向について述べた文として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号30)

- A 8月9日の御前会議では、出席者全員の賛成で、直ちに宣言受諾が決定され、最後に天皇がそれを承認した。
B 8月14日の御前会議後、「本土決戦」を叫ぶ一部の軍人たちによってクーデターが試みられたが、15日には鎮圧された。
C 「終戦の詔書」は8月15日付で公布された。
D 8月15日の正午をもって、連合軍との全ての戦闘が終了した。

B 第二次世界大戦後、GHQは、農村の民主化を進めるために、日本政府に地主制の解体を求めた。[6] 内閣は、1945(昭和20)年11月、在村地主の貸付地所有限度を5町歩(約5ha)とする農地改革案を作成したが、GHQはこれに満足せず、改革案中の小作料の [7] については、実施するよう指令した(第1次農地改革)。GHQは、農地改革の徹底を要求し、日本政府は、1947年から1949年にかけて第2次農地改革をおこなった。その結果、 [8] はなくなり、在村地主の貸付地所有限度も1町歩(約1ha)、自作地を含めても3町歩(約3ha)が所有限度と定められ、これを越える分は政府が買い上げて、 [9] を通じて小作農に優先的に売り渡した。それまでの農村の支配的秩序であった封建的な地主・小作関係を基礎とする地主制はここに解体されたのである。

また、占領当初、日本経済を支配してきた財閥を日本軍国主義の基盤の一つとみなしたGHQは、1945年11月に三井・三菱・住友・安田などの財閥の解体と資産凍結を指令し、1946年4月には持株会社整理委員会令が公布された。1947年には、財閥の復活を防止するために [10] が、日本製鉄などの独占企業を分割するための [11] が制定されたが、財閥解体政策は、その後、米ソ冷戦の激化とともに次第に緩和されていった。

問6 空欄6・7にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号31)

- A 6—吉田 茂 7—物納制 B 6—吉田 茂 7—金納制
C 6—幣原喜重郎 7—物納制 D 6—幣原喜重郎 7—金納制

問7 空欄8・9にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号32)

- A 8—不在地主 9—農地委員会
B 8—不在地主 9—農業協同組合
C 8—小作地 9—農地委員会
D 8—小作地 9—農業協同組合

問8 空欄10・11にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、下のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号33)

- A 10—独占禁止法 11—重要産業統制法
B 10—過度経済力集中排除法 11—重要産業統制法
C 10—独占禁止法 11—過度経済力集中排除法
D 10—重要産業統制法 11—過度経済力集中排除法

問9 下線部(ウ)について述べた文として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号34)

- A 持株会社整理委員会令は、財閥が株式や社債の所有を通して多くの会社を支配することを禁止した法令である。
B 持株会社整理委員会によって指定された会社は、その所有証券をすべて委員会へ譲渡し、処分を受けた。
C 解散を命じられた持株会社には、三井本社・三菱本社が含まれていた。
D 敗戦により軍需産業が衰退したため、解体が命じられた財閥には、日産・日産・理研・中島・日曹などの新興財閥は含まれていなかった。